※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | 3008 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編「現代文Ｂ」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 高校漢字トレーニング（増進出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文Ｂ」では、近代以降のさまざまな文章に親しんで「読む力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す、聞く力」、意思を伝えるための「書く力」をしっかりと身につけてください。
・授業中には漢字の記述、文章表現、発表などがあるので、自ら学び伝える姿勢を持ちましょう。
・授業を振り返って復習し、他の人の意見を聞き、人生を豊かにするための感じ方、考え方を深め社会人としての資質を学んでいきましょう。

## 2　学習の到達目標

小説、評論、随筆、散文などのジャンルを通して「読む力」を高め、言語能力の向上を図り、ものの見方、考え方を深める。
　計画的に実践を重ねることによって、適切な表現能力を身に着け、人生を豊かにできる感覚を養う。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、感じなどについて理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 行動観察（授業の受け方）<br>ノート・提出物等の記述の点検 | 行動観察（授業の受け方）<br>発表等の発言の内容の点検 | ノート・提出物等の記述の内容の点検<br>（ワークシートなど）<br>定期考査<br>小テスト | 提出物等の記述の内容の点検<br>音読<br>定期考査 | ノート・提出物等の記述の内容の点検<br>定期考査<br>小テスト |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | | |

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 一学期 | 若い人たちへ | どんな人になりたかったか<br>(大江健三郎) | ○ | | | ○ | ○ | a:「どんな人になりたいか」という、未来の自分について考える。<br>b:<br>c:<br>d:表現されている人物像に着目し、筆者の考えを読み取る。<br>e:指示語や助詞の働きについて理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |
| 一学期 | 伝統をうけつぐ | ひかりのどけき春の日に<br>日本人と桜<br>(森本哲郎) | ○ | | | ○ | ○ | a:古くから、日本人がどのような思いで桜を愛で表現してきたかを知る。<br>b:<br>c:<br>d:紀友則、在原業平、兼好法師の桜に対するおもいを読み取る。<br>e:身近な桜を詠んだ詩歌、俳句を知るとともに語句の意味を理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |
| 二学期 | 小説を読む | 待合室<br>(内海隆一郎) | ○ | | ○ | ○ | ○ | a:登場人物の人間像や心情を読み取りながら、小説を読むことに関心を持つ。<br>b:<br>c:漢字を正しく読み書きできる。<br>d:登場人物の設定、役割を考え、人柄などをつかむ。<br>e:感想を話し合い、人生に対する考えを深める。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 社会に生きる | 幸せの分量<br>（立松和平） | ○ | | ○ | | ○ | a:現代社会の中での「幸せ」とは何かについて、考えを深める。<br>b:<br>c:筆者の考えを読み取り、自分の「幸せ」についての意見をわかりやすく文章表現してみる。<br>d:<br>e:自分に照らし合わせて、仕事と人生について考えを深める。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |
| 二学期 | 名作を読む | こころ<br>（夏目漱石） | ○ | | ○ | ○ | ○ | a:近代小説の名作に触れ、それを読み継いでいこうという意欲を持つ。<br>b:<br>c:作品を読み、登場人物の気持ちを考え「もし、自分であれば」どのような行動をとるかなどを表現してみる。<br>d:作品のあらすじをつかみ、登場人物の人物像や心情の変化などを読み取る。<br>e:時代と小説の関わりや、他の近代小説の代表作に目をむけ知識を広げる。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |
| 三学期 | 短歌・俳句に親しむ | 短歌<br>俳句 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a：近代短歌、俳句の歴史、や形式などに関心を持つ。<br>b：音読<br>c：短歌、俳句の創作<br>d：作者、作品の時代背景を考えながら、鑑賞する。<br>e：短歌、俳句の用語、語法、修辞法について理解し、知識を身につける。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>課題提出<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す能力・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。